



『ライブ!公共 2027』に込めた想い

株式会社帝国書院 第二編集室 公民班

本書は発刊以来、「豊富な情報を、親しみやすいビジュアルと詳しい解説でわかりやすく伝える『公共』資料集」をコンセプトに編集してまいりました。2026 年度版では、配列やページデザイン、掲載テーマを見直すとともに、大学入試を意識した「確認と演習」や小論文対策を拡充いたしました。さらに、2027 年度版では、最新の国際情勢や社会の動きを反映するとともに、知識の習得にとどまらず、**生徒の皆様が自ら考え、判断し、社会に参画するきっかけとなるページを充実させております。**また、先生方からご要望をいただいた、「**教師用紙面データ**」を Web サポートに新たに収録しました。

日々の授業から大学受験まで幅広くご活用いただける本書の特色を、以下 3 点に分けてご紹介いたします。ご審査用見本とともにご一読いただき、ご検討を賜りますようお願い申し上げます。

◆『ライブ!公共 2027』の特色

① 「今を学べる」資料集をめざして

特設ページの「**ニュース Q&A**」では、イラン情勢や日中関係、物価上昇、AI との向き合い方など、社会の新たな動きを、ジャーナリスト・池上彰氏監修の Q&A と写真・図表でわかりやすく解説しています。例えば、巻頭 19-20「**AI (人工知能) とどう向き合うか**」では、大量のデータに基づく分析や災害予測など、生成 AI がもつ可能性を紹介する一方、もっともらしい誤情報を示す危険性も取り上げています。AI を活用しながらも、情報の真偽を確かめ、自ら問いを立てて判断することの大切さを考えられる内容です。各話題には参照ページを示すとともに、対応するワークシートと小論文問題も用意し、ニュースを授業で学んだ知識や自分たちの暮らしと結びつけ、自分の考えをまとめ、表現する学習へとつなげられるようにしました。

↑ 巻頭 19-20「AI (人工知能) とどう向き合うか」

② 「考えて深まる」資料集をめざして

「ゼミナール公共」や「思考の広場」などの特設ページを通して、自らの考えを深める学びを支えます。「ゼミナール公共」では、これまでも「倫理」「政治・経済」へのつながりを意識した内容を取り上げてきました。2027年度版では、p.145-146「18歳になったら投票先をどう選ぶ？」や p.231-232「将来に向けたマネープランを立てよう」を新たに掲載しました。主権者教育や金融経済教育に関する内容を充実させ、社会生活に必要な知識や考え方を実践的に学べるようにしました。

また、「思考の広場」では、簡単には答えの出ない実社会の問いについて、漫画やグラフなどの資料をもとに考察できるようにしています。例えば、p.47「承認欲求が強いことって問題？」では、SNS という身近な題材を入りに、マズローとハイデッガーの考え方を手がかりとして、異なる視点から考えられるようにしました。既習事項と実社会の課題を結びつけることで、生徒の皆様が身近な問題を多面的・多角的に捉え、自分なりの考えを深められる構成とし、授業の振り返りや議論の題材としても取り上げやすくしました。



↑ p.231-232「将来に向けたマネープランを立てよう」



↑ p.47「承認欲求が強いことって問題？」

③ 「見てわかる」資料集をめざして

本書は、豊富な写真と図を通して、現代社会の出来事や課題を具体的に捉えられるようにしています。社会制度や国際情勢、経済のしくみなど、文章だけでは抽象的に感じやすい内容も、現実の社会と結びつけて理解できます。例えば、p.141「選挙制度とその課題」では、選挙制度が広がってきた過程を示す写真を導入に用い、現在の日本の選挙制度を図でわかりやすく解説しています。ニュースや身近な生活につながる写真から関心を引き出し、「何が起きているのか」「なぜそうなっているのか」と問いを立てながら、解説や図を読み進められるよう工夫しました。

◆ おわりに

編集部では、よりよい公民科教材をめざし、引き続き皆様のご意見に向き合い、一層の内容向上を続けていく所存でございます。ご審査用見本の巻頭 3-4 の「もくじ」には、2027 年度版で改訂を行ったページを黄色マークで示しております。『ライブ! 公共 2027』をご覧いただき、ご検討賜りますようお願い申し上げます。

本書には書籍版とクラウド配信版(デジタル資料集)のセット版もございますので、併せてご検討くださいませ。

クラウド配信版の詳細はこちら▶

